

平成30年度知的財産権研修[初級]実施報告

平成31年4月

平成30年度、独立行政法人工業所有権情報・研修館では知的財産権研修を3回実施しました。
本研修は経済産業局や地方自治体、政府関係機関、公益法人等において知的財産権関係の業務に携わる職員を対象とし、その業務遂行に必要な知識を習得することにより、知的財産権制度の理解を深め、同制度の円滑な運用に資することを目的としています。

1. 研修の概要						
(1) 日程	第1回 6月12日～15日 (4日間)	第2回 7月25日～27日 (3日間)	第3回 10月16日～19日 (4日間)			
(2) 対象	行政機関が所管する研究機関、独法、公益法人等の職員等	政府関係機関、地方自治体、行政機関が所管する研究機関、独法、公益法人等の職員等	行政機関が所管する研究機関、独法、公益法人等の職員等			
(3) 開催地	東京都	東京都	東京都			
(4) 申込人数	49名	36名	35名			
(5) 参加人数	41名	34名	32名			
(6) 講師	9名	9名	9名			
(7) 研修内容	産業財産権制度の概要 知財管理について 他	産業財産権制度の概要 産学官連携の推進 他	産業財産権制度の概要 知財管理について 他			
2. アンケート結果						
(1) 研修全体として	人数	割合	人数	割合	人数	割合
・非常に知識や能力が向上した (非常に有意義であった)	9名	24%	12名	43%	17名	55%
・知識や能力が向上した (有意義であった)	29名	73%	16名	57%	14名	45%
・あまり知識や能力が向上しなかった (あまり有意義ではなかった)	1名	3%	0名	0%	0名	0%
・知識や能力が向上しなかった	0名	0%	0名	0%	0名	0%
・無回答	1名	—	6名	—	1名	—
(2) 主な意見・要望	<p>〈産業財産権制度の概要(第1回～3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体例に基づいた解説が非常に分かりやすかった。 ・話がわかりやすく、かつ楽しくて聞きやすかった。4月から知財業務を始めたばかりなので、大枠の話で頭が整理できた。中小企業のことが聞けたのも良かった。 ・事例の紹介が有り、分かりやすかった。特許の基本を知るための良い概要説明だった。 <p>〈著作権法の概要(第1～3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・著作権の有効な効果、他の知財権利が有効か等がわかりやすく説明されていた。判例の紹介では著作権の観念がわかるように説明していただいた。 ・著作権法について事例をあげて説明されており、とてもわかりやすかった。 ・著作権法は多岐にわたり技術の進歩と共に法も変わっていくことがわかった。 <p>〈権利侵害について(第1～3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特許とは言葉の技術であるとのこと、とても印象的だった。審査官にわかりやすく、納得してもらうための文章を書くことが大切であると共に、特許を取得することの意義をしっかりと持つことが重要であるとわかった。 ・事例紹介が多く、理解しやすかった。特許だけでなく、他の権利も紹介されており、参考になった。 ・特許権を取得した後が大事だと言うことを知った。 <p>〈知的財産に関する契約について(第1～3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秘密保持契約や共同研究契約書の留意点を詳しく学ぶことが出来た。 ・共同研究契約を結ぶ時の留意事項がわかった。 ・資料の整理が的確で実務に即した講義だった。 					

	<p>〈知財管理について(第1・3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財を有効に活用するためにも、財務の知識を取り入れることが必要だと感じた。 ・税に関することも含め、実務的な内容で興味深い内容だった。 ・組織における知財戦略を考えさせられた。 						
	<p>〈知的財産活用戦略(第1・3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企業、特に日系の企業が現代いかに知財戦略を必要としているか、よくわかった。 ・オープンクローズ戦略の重要性について学ぶことができ良かった。 ・特許権を活かすことの大切さ、戦略について考えさせられた。 						
	<p>〈グループ演習(第1・3回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な視点での議論が行われ、有意義であった。 ・自分のグループ内での議論や他グループの発表により、広く意見を聞くことが出来た。 ・これまでの講義内容の理解が深まった。 ・一つの議題でいろいろな意見を出し合う場がなかなか無いので、有意義であった。 						
	<p>〈不正競争防止法の概要(第2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法の趣旨、目的から各条文のポイントを指摘いただき、とてもわかりやすい講義だった。今日の改正もフォローしていただき、幅広く知見を共有していただけた。 ・不正競争防止法と商標法、意匠法の違いや事例の紹介もあって、わかりやすかった。 						
	<p>〈地域ブランド戦略と知的財産(第2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしい内容で知的財産の知識を如何に活かすかのヒントにあふれていると思った。「ブランド」という言葉に込められている歴史について考えるきっかけになりそうだった。 ・地域活性化のために、様々な視点からブランド戦略の説明をうかがうことが出来、大変勉強になった。 						
	<p>〈産学官連携の推進(第2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的財産権の価値の算出方法や特殊請求範囲の仕方など、事例を含めてわかりやすかった。 ・知財の管理を行う上で参考になるお話を聞くことが出来た。共同研究にあたって、実践的な内容は大変参考になった。 						
	<p>〈知財制度と国・自治体の役割について(第2回の実施科目)〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国等の発展のために保護すべきもの、保護すべきでないものの性質の違い、保護したものの活用に向けた国等の役割、関わり必要性等、わかりやすい説明で理解を深めることが出来た。 ・知的財産権を守るため、国の役割や制度整備の必要性を感じた。 						
	<p>〈総合的なご意見〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知財についての知識を一通り学ぶことが出来、有意義であった。 ・職務上必要な知識に加え、知財全体を広くイメージ・把握するのに役立つ事例を数多く知ることが出来た。 ・知財の考え方から出願の戦略、法律まで幅広く学ぶことが出来、実例を用いながらの講義のため、非常にわかりやすかった。 						
(3) アンケート回収率	<table border="1"> <tr> <td>40名</td> <td>98%</td> <td>34名</td> <td>100%</td> <td>32名</td> <td>100%</td> </tr> </table>	40名	98%	34名	100%	32名	100%
40名	98%	34名	100%	32名	100%		